

## 四国中央市福祉バス運営審議会 会議概要

1. 日 時 平成27年10月28日（水） 午後2時～
2. 開催場所 四国中央市 新宮庁舎 1階応接室
3. 出席者 委員 出水武美、山本正行、藤原清子、藤原孝子（敬称略）  
事務局 総務課長 石村泰彦、課長補佐 篠原 茂、  
係長 石川恵次

### 会議の概要

#### 1. 開会挨拶（石村課長）

#### 2. 議事

##### 会長の選任について

平成27年10月1日からの会長、副会長の選任について、事務局より、前回に引き続いて、出水武美さんに会長を、羽賀公彦さんに副会長をお願いしたいとの提案があり、全員の賛同により2人の選任を決定した。

##### 平成26年度及び平成27年度の利用状況について

資料に基づき、平成26年度及び平成27年度9月末までの利用状況を事務局より説明する。昨年10月から四国交通バスの、新宮路線が廃止したことにより新規運行を実施している2路線の利用者は極めて少ない状況であり、全路線の傾向として利用者は人口減少に伴い、右肩下がりに減少している状況にあることを報告した。車輛の維持管理では、上山下部線の車輛を14人乗り四輪駆動車に更新し、冬季における運休の解消を図ったことを報告した。

次に、26年度福祉バス特別会計歳入歳出決算では、歳入の90%が一般会計からの繰入金であり、歳出の大半は人件費と燃料費であることを報告した。また、一般会計からの繰入金には、800万円の電源立地対策交付金が含まれているので、実質的な一般財源による負担は、約半分に軽減されていること報告した。

##### （委員からの意見）

運行路線の道路脇から、木や草などが運行の支障になっているところはないか。

##### （事務局）

夏季になると、道路の草刈りが必要になってくるが、道路管理者がなかなか草刈り等を行ってくれないのが現状である。各道路管理機関へ、交通安全の観点からも

早期に対応してもらおうよう要望していく。また安全協会にも声をかけて協力をお願いしたい。

### 3 . その他（事務局より）

#### 外出支援事業バスについて

新宮町内では、地域住民の足として福祉バス以外に、高齢者や障害者のために外出支援バスを運行しているが、福祉バスの利用が極端に少ない地域では、外出支援バスのような運行形態にシフトしていくことを、将来的には検討する必要があるのではないかと考えていることを提案した。

#### 運行について

台風や大雪などの悪天候時は、安全面を最優先にして止むなく運行を中止するのでご理解をお願いしたい。また、今年度から毎朝アルコールチェッカーにより運転手のアルコールチェックを行い、安全運行に勤めていることを報告した。

### 4 . 閉会